平成26年度第3回花巻市行政評価委員会会議録(しごと部会)

1 開催日時

平成26年8月7日(木) 午前9時30分~午前11時

2 開催場所

花巻市花城町1番47号 まなび学園2階第1学習室

3 出席者

委員 6名

影山部会長、小山田委員、瀬川委員、佐藤委員、髙橋委員、折居委員 事務局、施策主管課

4 議題及び報告事項

◆施策:観光情報の発信

- ・情報発信は、ホームページのアクセス件数だけで評価するのではなく、インターネットから情報を発信した回数など、市から情報発信した実績も評価するべきである。
- ・外国人観光客も大事だが、近隣圏から来るお客様も大事。高速道路SAでのPRなどを展開してはどうか。
- ・道の駅やSA、JR駅、空港での観光PRは重要である。
- ・花巻には空港がある。就航先との交流も進めるべきである。
- ・観光に関しては、観光協会に任せるぐらいしてもいいのではないか。
- ・花巻全体のことがわかる動画なども有効なツールではないか。
- ・グリーンツーリズムで訪れる人たちがリピーターになっていないのではないか。 これは思い出を持って帰っていないため、「また来よう」とならないのでは。別の おもてなしを考えてもいいと思う。
- ・SNSやメディアの活用、若い人の発想等、地元の若者のパワーをもっと活用するべきである。

◇成果指標について

- ・設定した指標はよいと思うが、できるだけ細かく分析してみてほしい。
- ・HPのアクセス件数は、年間アクセス数だけでなく、一定の期間でのアクセス数 を分析するのも効果的ではないか。
- ・HPアクセス件数だけでなく、市からの情報発信件数も重要ではないか。
- ・HPアクセス数=観光客ではないことに注意するべきである。

◇事務事業について

・観光協会がもっと活発に動けるよう、もう少し予算措置をしてはどうか。

◇施策の総合的な評価

- ・動画の活用を早急に検討してほしい。
- ・他の観光協会との連携を図るべきである。
- ・空港所在市のメリットを活かすべきである。

◇記載内容について

概ね適正である。

平成26年度第3回花巻市行政評価委員会会議録(暮らし部会)

1 開催日時

平成26年8月7日(木) 午前9時30分~午前11時15分

2 開催場所

花巻市花城町1番47号 まなび学園3階第5学習室

3 出席者

委員 5名

鈴木部会長、伊藤委員、佐藤委員、戸来委員、高橋委員 事務局、施策主管課

4 議題及び報告事項

◆施策:地域医療の充実

- ・成果指標にかかりつけ医とかかりつけ歯科医のほかに、「かかりつけ薬局を持っている市民の割合」もつけ加えてみてはどうか。また、「健康はなまき21プラン」というパンフレットを確認しているかどうかの指標があってもいい。
- ・課題に、産婦人科、小児科が不足しているとあることから、小児科、産婦人科の 充実を図るような数値を出すことはできないか。

◇事務事業:救急医療確保事業

- ・これからは、在宅医療の体制が重要になってくるので、在宅医療の充実についても新たに取り組む事業に加えてみてはどうか。在宅医療は必ず家族がついていることが前提となり、その多くは女性となると考えられる。そういう人に向けてのフォローも忘れずに行ってほしい。
- ・長野県佐久市や諏訪市、埼玉県和光市は保健師の活動が進んでいるため、研修に は最適である。
- ・配食サービスも健康維持には不可欠である。

平成26年度第3回花巻市行政評価委員会会議録(人づくり・地域づくり部会)

1 開催日時

平成26年8月5日(火) 午後1時30分~午後3時

2 開催場所

花巻市花城町1番47号 まなび学園2階第1学習室

3 出席者

委員 6名

堀篭部会長、中村委員、久保田委員、尾美委員、福盛田委員、木村委員 事務局、施策主管課

4 議題及び報告事項

◆施策:家庭の教育力向上

- ・成果指標「基本的生活習慣が身についている子どもの割合」の把握の仕方について、園の担当者と保護者の平均値という点は課題である。
- ・成果指標はこれでよいと思うが、子どもの生活は親の役割が重要であるため、親の 姿が見えるようであれば、なおよいのではないか。
- ・市の関与の必要性は高まってきている。
- ・新たな事業としては、祖父母の力で補ってもらうものが必要と考える。三世代交流 など祖父母に学ぶ機会を設ければ、さまざまなことが身につく。

◇事務事業:家庭教育力向上事業

- ・事業内容に対する質疑
- ・親の役割が重要である。親への支援が子どもへのいい影響につながる。

◇事務事業:青少年活動推進事業

・事業内容に対する質疑